

臨床研究に関する情報の公開

作成日：2026/8/22

研究課題名	頭痛専門外来患者における市販薬及び処方薬の頭痛治療薬と薬剤の使用過多による頭痛との関連についての調査研究
研究の対象	2024 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日の間に、富永病院または富永クリニックの頭痛外来を初診、または前回の受診から 1 年以上経過して再診し、頭痛問診票に回答した 15 歳以上の方を対象とします。 また、探索的な解析として、2018 年 10 月 1 日～2024 年 4 月 30 日の間に、富永病院または富永クリニックの頭痛外来を受診し、頭痛問診票に回答した方についても研究対象とします。
研究目的	薬剤の使用過多による頭痛（medication-overuse headache：MOH）は、頭痛治療薬の使用過多と関連して生じる頭痛です。 頭痛に対して、医療機関から処方される薬だけでなく、薬局やドラッグストアなどで購入できる市販薬も広く使用されています。しかし、市販薬を含め、患者さんが頭痛専門外来を受診する前にどのような薬を使用していたかについては、十分に明らかになっていません。 本研究では、受診前に使用していた治療薬について処方薬か市販薬か、またその薬の成分について調べ、MOH との関連を明らかにすることを目的とします。 本研究により、頭痛治療薬の適正な使用や MOH の予防に役立つ知見を得ることを目指します。
研究方法	本研究は、通常の診療で既に得られている頭痛問診票および診療録の情報を利用する後ろ向き観察研究です。研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。 頭痛問診票に回答した時点の患者さんの背景、受診前の頭痛治療薬の使用状況などを調べます。また、問診票回答後 1 年間について、診断名、頭痛の経過、治療内容や薬剤使用状況の変化などを診療録から調査します。 これらの情報を用いて、市販薬または処方薬の使用状況や薬の成分と、MOH との関連などを統計学的に解析します。
研究に用いる試料・情報の項目 （例：血液、検査データ、診療記録等）	本研究では、通常の診療で得られた頭痛問診票や診療録から、以下の情報を利用します。 ・年齢、性別、既往歴、併用薬などの患者情報 ・頭痛の頻度、部位、程度、罹患期間、診断名など ・受診前に使用していた頭痛治療薬の種類、使用頻度、使用期間、入手方法 ・頭痛予防薬の使用状況 ・受診後の治療内容や薬の変更状況 ・その他、研究に必要な診療情報 本研究のために、新たに血液などの試料を採取することはありません。
研究期間	研究機関の長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日
外部への試料・情報の提供、取り扱いについて	富永病院・富永クリニックで研究用データを作成し、適切に管理します。個人情報を含むデータは富永病院・富永クリニック所属の研究担当者のみが取り扱い、施設外には提供しません。京都大学など施設外の研究者には、個人を特定できないデータのみを提供します。
研究代表者の氏名及び所属する研究機関の名称	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授 中山 健夫
研究責任者および試料・情報の管理責任者（共同研究の場合は研究代表者）の氏名及び所属する研究機関の名称	社会医療法人寿会 富永病院・富永クリニック 院長 竹島 多賀夫
上記以外の研究機関の名称	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻
本研究に対するご質問などについて	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することができます。

	ご自身の情報を本研究に利用されたくない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。ただし、すでに個人を特定できない状態で解析が開始されている場合は、データを削除できないことがあります。
ご質問のお問い合わせ先	社会医療法人寿会 富永病院 薬剤部 岡本 芙美 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目4-48 TEL : 06-6568-1601 E-mail : okamoto060615@gmail.com